(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2005年4月21日(21.04.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/036831 A1

(51) 国際特許分類7:

H04L 12/46, 12/44

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2003/012828

(22) 国際出願日:

2003年10月7日(07.10.2003)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 富士通 株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒211-8588 神 奈川県 川崎市 中原区上小田中4丁目1番1号 Kanagawa (72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 浪平 大輔 (NAMI-HIRA,Daisuke) [JP/JP]; 〒211-8588 神奈川県 川崎市 中 原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内 Kanagawa (JP).

(74) 代理人: 遠山 勉 ,外(TOYAMA, Tsutomu et al.); 〒 103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 アクロポリス21ビル6階 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (国内): JP, US.

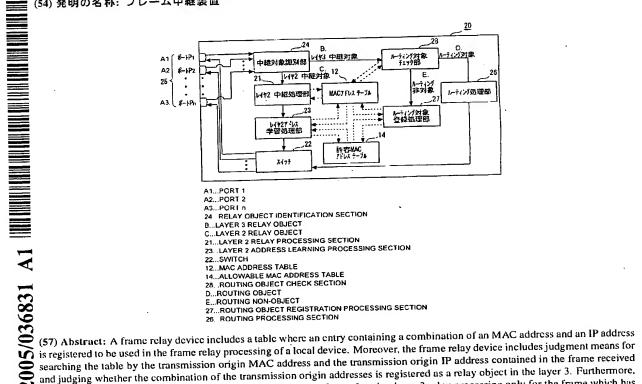
添付公開書類:

国際調査報告書

/続葉有/

(54) Title: FRAME RELAY DEVICE

(54) 発明の名称: フレーム中継装置



searching the table by the transmission origin MAC address and the transmission origin IP address contained in the frame received and judging whether the combination of the transmission origin addresses is registered as a relay object in the layer 3. Furthermore, the frame relay device includes layer 3 relay processing means for performing layer 3 relay processing only for the frame which has been judged to contain the combination of the transmission origin addresses as a relay object.

[続葉有]

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

⁽⁵⁷⁾ 要約: 本発明は、自装置でのフレームの中継処理で使用するMACアドレスと I Pアドレスとの組を含むエントリが登録されるテーブルを備える。また、本発明は、受信されたフレーム中の送信元MACアドレス及び送信元IPアドレスで前記テーブルを検索し、この送信元アドレスの組がレイヤ3での中継対象として登録されているか否かを判定する判定手段を備える。さらに、本発明は、前記送信元アドレスの組が中継対象として登録されていると判定されたフレームのみを対象としてレイヤ3の中継処理を行うレイヤ3中継処理手段を備える。